

教育 かしま

第17号

発行日

平成24年7月13日

発行

鹿嶋市教育委員会

連絡先

鹿嶋市教育委員会 教育総務課

Tel.0299-82-2911（内線532）

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進していくための情報を掲載していきます。

フロンティア・アドベンチャーから見えてくるもの

～鹿嶋市教育委員会 委員長 小澤和夫～

7月24日から、フロンティア・アドベンチャーが始まる。炎天下10泊11日の屋外体験活動だ。今年も110人を超える応募者の中から70人が参加することになる。

平成3年から始まったフロンティア・アドベンチャーも今年で22回目である。毎回、学校の先生方、民間のボランティア、高校生など・・・多くの方が運営や指導に尽力してくれている。運営スタッフや指導者、参加児童は替わっても、活動を通して多くの感動や絆が生まれている。

11日間の集団生活や自然体験を通して、参加した子どもたちが精神的に成長すると言われている。近年の傾向として、小学生の時にこの活動を経験した高校生たちがサブリーダーとして参加する姿が目立つようになった。今年もサブリーダーの半数がかつての参加児童である。さらに、22年前のスタート当時の参加児童は、今や30代の社会人である。彼らが指導者として協力し、活躍する姿も見られるようになった。参加した児童が時を経てサブリーダーや指導者として再び参加することがこの活動の価値を高めている。

このような経緯を振り返ると、まさに「継続は力なり」の感を深くする。20年以上の活動の積み上げによって、学んだ良さを次の世代へ伝える「活動の継承」が生み出されているように思える



▲みんな一緒に焼き板作り！

からである。

私は、教育には2つの役目があると思っている。それは個人の資質や能力を向上させることと地域社会の文化や伝統、価値観や連帯感を継承することである。最近では、学力、体力、コミュニケーション力、規範意識、生きる力など・・・教育の結果としての個人の資質や能力に焦点が当たり、これまで以上に様々な施策や事業が展開されている。反面、学校や家庭、地域での世代間の継承に焦点を当てた取り組みはおろそかになりつつあるように思える。地域社会の安定と繁栄のために、文化や伝統、価値観や連帯感などにも焦点を当て、親から子へ、先輩から後輩へ、年上の者から年下の者へ、世代間の継承を今一度重視する必要があるのではないかと。

フロンティア・アドベンチャー活動は、私たちに教育活動の継続の重要性と世代間の継承の価値を示しているように見える。

鹿嶋市は、「世界に羽ばたく鹿嶋っ子」を育てることを目標に、この事業の他にも中学生の海外相互交流や小学校での英語活動などの様々な教育施策を実施している。

継続すること、その成果を次の世代に還元することを心がけたい。



▲那須連山の険しい岩山を、互いに励ましあって進んでいきます

平成24年度文部科学大臣賞受賞！！

各校の優れた取り組みが高く評価

高松小学校、大同東小学校、鹿野中学校の3校が文部科学大臣賞を受賞しました。高松小学校は、読書活動の推進のために優れた取り組みを行っている学校に贈られる「子どもの読書活動優秀実践校」での受賞。大同東小学校・鹿野中学校は、科学技術分野において児童・生徒の創意工夫の育成に顕著な成果を上げた学校に贈られる「創意工夫育成功労学校賞」での受賞を果たしました。

○子どもの読書活動優秀実践校

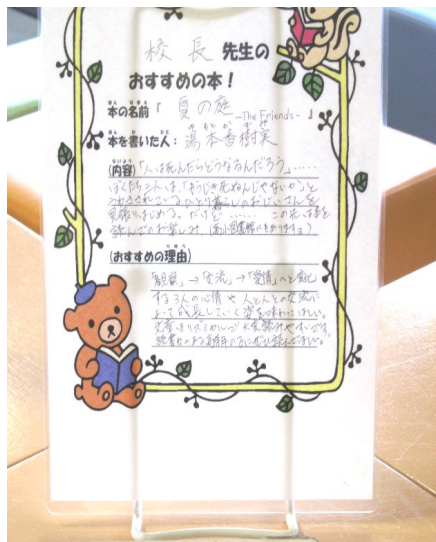
高松小学校（平沼京子校長・児童数237人）が受賞した「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣賞は、全国で137校（茨城県は3校）が受賞しました。今回の受賞では、高松小学校の読書活動推進に向けての特色ある取り組み、



季節に合わせた特設コーナー▶

学校図書館司書の配置や施設整備、市及び国の図書館や市内学校図書館との連携が高く評価されました。取り組みの具体的な内容としては、読み聞かせ活動や読書スタンプラリー、読書に親しむ環境づくりなど、子どもたちがより読書に親しむような工夫や、学校図書館司書と司書教諭が密に連携して読書活動の推進を図っていることなどがあげられます。これらにより、子どもたちの読書のジャンルが広がり、個人の読書量も年々増加しています。

受賞後の昼休み、本の世界が広がる魅力的な図書館には、多くの子どもたちが足を運んでいました。その中でも、先生おすすめの本コーナーや月替わりでの特設コーナーは、子どもたちに大変な人気で、7月の特設コーナーのテーマである「こわーいお話」を手に取り、わくわくドキドキしながらページをめくっていました。「図書館に来るのがすごく楽しみ。本を読むとその世界に入っているような気持ちを味わえるのでとても楽しいです。」「先生たちからのおすすめの本はとてもおもしろいので、もう何冊も読みました。次はどの本を選ぶのか迷ってしまいます。」と話す子どもたちの表情からは、本を読むことの楽しさが伝わってきました。



▲校長先生もおすすめの一冊を紹介！

○創意工夫育成功労学校賞

大同東小学校（後藤浩校長・319人）と鹿野中学校（檜村康弘校長・270人）が受賞した「創意工夫育成功労学校賞」文部科学大臣賞は、全国で13校が受賞しています。その13校のうち3校が茨城県内の小中学校であり、その2校が鹿嶋市の学校という素晴らしい結果となりました。大同東小学校においては、毎年発明工夫作品展への出品が多く、県レベルで多数入賞を果たしていることや、学校教育における科学技術分野の振興及び基盤の拡大が高く評価されました。また、鹿野中学校においては、発明工夫作品展、全国ロボットコンテストへの積極的な参加及び県、関東大会における入賞実績などが高く評価され今回の受賞となりました。



○公益財団法人小平記念日立教育振興財団 「小平記念教育資金」を受賞



「小平記念教育資金」とは、茨城県の基礎教育の振興のため公益財団法人小平記念日立教育振興財団が茨城県教育委員会の協力のもとに、昭和48年に創設した教育資金です。県下の小中学校の中で基礎教育に顕著な成果を収めた学校に対して贈られるもので、今年度鹿野中学校は、国際理解教育の推進部門での受賞となりました。

今回の受賞においては、英語を国際社会の中で生きる生徒のコミュニケーション手段として捉え、実践的に活用できるコミュニケーション能力の向上を図るためのカリキュラム開発及び指導法の追究が高く評価されました。実践内容としては、ALT（外国語指導助手）や視聴覚教材の効果的活用、鹿嶋市と交流のある中学校（オーストラリア・カウンドラ市）とのテレビ討論会、校内インタラクティブフォーラムの開催など、数々の特色ある取り組みがなされています。

実際のコミュニケーション英語の授業では、ALTのナチュラルな英語に慣れ親しんだ生徒たちが、コミュニケーション手段として英語を積極的に活用していました。授業後の感想を生徒にたずねると「英語を通してお互いの思いや考えを話したり聞いたりすることはとても楽しい。コミュニケーション英語の時間をいつも楽しみにしている。」と笑顔で答えていました。



▲笑顔を支えながらの授業風景

大野中学校特別教室棟 解体工事を実施します

昭和38年に建築された特別教室棟は、給排水やガスの配管などの経年劣化が著しいため、当初は特別教室棟を改築することで検討していました。しかし、今後における生徒数の推移や空き教室の見込みなどを考慮し、特別教室棟の機能（理科・家庭科室等）を校舎（普通教室棟）へ移転する改修工事となり、その後特別教室棟を解体し、生徒や校内の安全性を確保しながら駐車場として整備を進めることになりました。この工事は、学校運営に影響の少ない夏休み期間中に集中して行えるよう、現在着工準備を進めています。

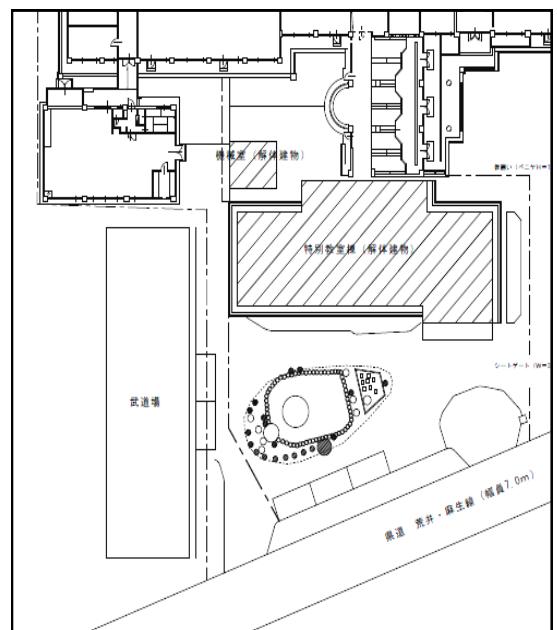
なお、本工事が授業などに影響を及ぼさぬよう工事を進めますが、作業内容により騒音などの発生で近隣の皆さま方にもご迷惑をおかけする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○工期：平成24年6月から平成24年12月下旬まで

○問い合わせ

鹿嶋市教育委員会教育総務課

0299-82-2911（内線532）まで



▲機能が移転し解体される特別教室棟
（斜線部分）

図書館からのお知らせ

楽しくやさしい天文学講座

～みんなで楽しんじゃいましょう！～

FMかしまの番組「ようこそ、宇宙研究室へ」でおなじみの布施哲治理学博士による「楽しくやさしい天文学講座」を開催します。

今回のテーマは、「みんなで楽しんじゃいましょう！」です。

楽しく学び、興味を持っていただきたいという布施博士の思いをテーマにしました。講座当日は映像をはじめ、講演やFMかしまの収録を生で見られます。おまけに、講座終了後には、布施博士によるサプライズなイベントも予定されています。

今まで参加したことのある方も、参加したことのない方も、布施博士と一緒にみんなで楽しんじゃいましょう！

- 日時 平成24年 7 月 29 日（日）
10:30～11:30（10:00開場）
- 会場 大野ふれあいセンター 1 F 多目的ホール
※当日会場にお集まりください
- 入場料 無料
- 講師 布施哲治 理学博士
（鹿島宇宙技術センター 宇宙通信システム研究室主任研究員）
- 定員 先着200人
- 対象 子どもから大人まで



なお、中央図書館から会場まで、バスによる送迎（先着60人）を行います。バス利用を希望される方は、中央図書館の窓口又は電話にてお申込みください。

講座の詳細につきましては、中央図書館のホームページまたは小中学校やまちづくりセンターに掲示されているポスターをご覧ください。



▲子どもたちに、太陽の黒点について熱心に説明する博士



◀ FMかしま収録のようす



▲子どもたちと記念撮影！

夏休み宿題おたすけコーナー

中央図書館・中央図書館大野分館ともに！

工作（貯金箱）や自由研究の本を集めたコーナーを作って皆様のご来館をお待ちしています。友達や親子で宿題のヒント探しをしてみてもいいかもしれません。